

### ～老後の所得確保のための豆知識～

厚生年金は支給開始年齢を 1 カ月遅らせるごとにおよそ 0.7% ずつ支給額が増えます。65 歳支給開始を 70 歳支給開始にすれば 0.7 × 60 ヶ月 = 42% の増加となります。一方で 1 カ月前倒しすると 0.5% ずつ減額されます。1 年前倒し 64 歳から支給を受けるとすると 0.5 × 12 ヶ月 = 6% の減額となります。この金額は後から変更できませんので要注意です。

岡本みつりの



※これらの数値は厚生労働省の資料を基に引用しています。

### 岡本みつりのの活動を支える 個人寄付サポート 募集中

#### 岡本みつりのは原点に帰って政治活動を再開しました

農業改革を目指し、個別所得補償政策に辿りついた 1 期目、2 期目。地域防災と社会保障を改革しなければならぬと、厚生労働事務官を務めた 3 期目。この信念を、これからも貫いていきたいと考えています。政治には多くのお金がかかります。人件費、家賃、印刷代などなど、これらを全て私一人で支えるのは、大変難しいのが実情です。大変心苦しいお願いですが、皆様からの寄付でお支え頂けませんか。なお、年間 2 千円を超える献金額につきましては、最大で、2 千円を超えた金額のおよそ半額が、確定申告をすることにより、所得税の還付という形などで、皆様に戻って参ります。

(例：年間 5 万円献金いただいた場合、最大約 2 万円が翌年の確定申告で減税されます。)

※議院の手続きの都合上、寄付領収先は「民主党愛知県第 9 区総支部」となります。

#### ポスターを貼らせていただけませんか？

- 岡本みつりののポスターを貼らせていただける場所を探しています。
- 駐車場、畑、空き地、工場・ご自宅の壁など、お邪魔にならないところで結構です。
- ご連絡いただければ、日程調整の上、事務所より貼りに伺わせていただきます。

#### 座談会実施中！

- 岡本みつのと直接ひざを交えて語り合いませんか？ 3～4 人からでも結構です。お店の一室、ご自宅、喫茶店などに伺い、医療・介護・年金などを中心に、国政の今とこれからを語ります。
- 日時・場所等については、ご相談の上調整させていただきます。まずは事務所までご連絡ください。

#### 岡本みつの事務所

●稲沢事務所  
(民主党愛知県第 9 区総支部)  
〒 492-8181  
稲沢市日下部北町 4-1-3  
Tel : 0587-24-8164  
Fax : 0587-24-8165

お名前 (ふりがな)	
〒	-
ご連絡先 (ご住所・電話番号)	(Tel. - -)
問合せ内容	

ご協力いただける方は、上の欄にご記入の上、岡本みつの事務所までファックスでお送りいただくか、お電話にてお問い合わせください。  
TEL.0587-24-8164 / FAX.0587-24-8165



<http://www.mitsunori.net/>  
twitter facebook もやっています!!

政治の  
特効薬 第 105 号

民主党愛知県第 9 区総支部長  
医師・医学博士

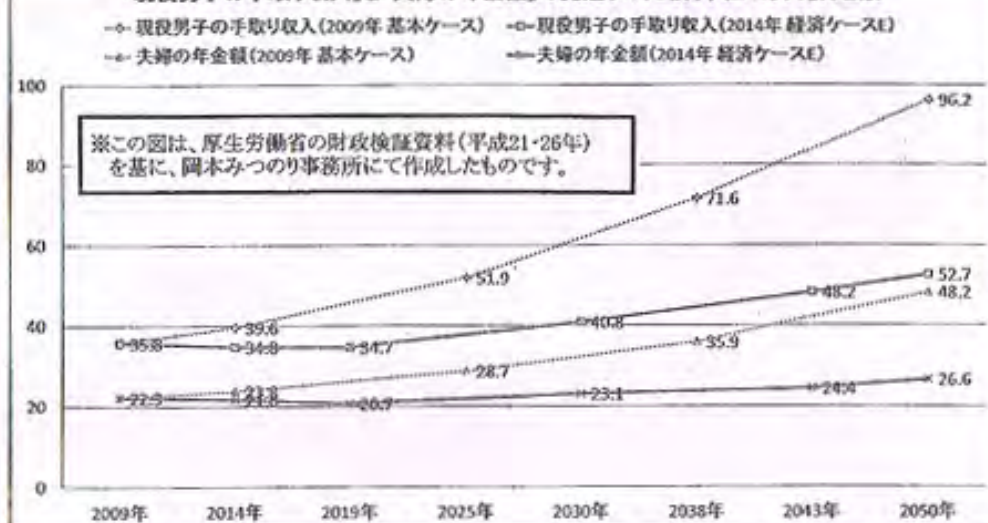
# 岡本みつのり

「これから」  
を  
ささえる

## 「年金危機」

平成 16 年以降 5 年に一度行われることが法律で定められた年金の財政検証が本年 6 月に公表されました。私は衝撃を受けましたが集団的自衛権の議論の陰に隠れあまり報道されていません。政府が「まだ年金は大丈夫」と宣言する根拠となっているこのデータですが、非常に甘い推計をしています。平成 16 年、平成 21 年と問題点を指摘し続けてきた私としては、「平成 21 年に指摘していた通りになった」と言いたいところです。

「現役男子の手取り収入」と「夫婦の年金額」の見通しの比較(単位:万円【月額】)



【夫婦二人で月額12万2千円で老後を暮らせますか？】

内容は国民に分かりにくいように複雑になっていますので簡略にして説明したいと思います。端的に言えば、平成21年の財政検証では2050年にモデル世帯(厚生年金に40年間加入していた夫と専業主婦だった妻)が老後に二人分で月額48万2千円もらえますと当時の政府自民党・公明党は言っていました。が、今年の再検証では月額26万6千円に減ると発表したのです。(図を参照してください)

さらに国民年金は低い経済成長と出生率が続けば2051年に積立金が底を突くと政府が認めたのです。その際厚生年金に加入する上記のモデル世帯の受け取る年金は2036年に法律が定める水準を割り込み、2050年には更に3割程度削減され今の物価水準で言うと月額12万2千円程度になります。一人で暮らす国民年金受給者は月額4万3千円の年金で生活して行かねばなりません。

(金額は満額ですので無職の時代や国民年金の未納期間があればその長さに応じてさらに減ることになります。)

【生涯の平均月給は手取り45万6千円になりそうですか？】

それでも甘すぎる経済前提

私は平成21年の財政検証時国会で甘すぎる検証データを指摘しながら、2050年の単身世帯の国民年金は月額4万4千円になるはずだと指摘しています。まさに私の見立てが正しかったこととなります。100年安心と嘯いた政党は猛省すべきです。

今後、日本経済の成長や運用利回り次第で年金の積立金は大きく金額を変えます。政府・自民党公明党は最も悪いケースでも物価は毎年0.6%、賃金は0.7%ずつ上がるとみえています。可能でしょうか？これが実現すると男性の平均月給は2050年に手取りで45万6千円額面なら定年間際には120万円程度の月給が貰えているという見立てです。更に言うと積立金は年利1.7%で運用することになっています。この運用がずっと出来るのでしょうか？

【だから株式投資？】

年金積立金は危機的な状況にあります。集団的自衛権を論じるのも結構ですが、足元を見てほしいと私は思います。年金積立金を手取り早く増やすために成長戦略で株式に積極的に投資と総理は指示しています。私達の老後は博打にかかっています。失敗すればもっと受け取りは減ることになります。年金の積立金をグリーンピアなどの公共事業に浪費してきた責任は問われませんでした。真摯な反省をして新しい年金制度を議論しようとした民主党は自民党・公明党に呼びかけましたがなしの礫。自分たちの非を認めないまま40代までの皆さんを積立金が底を突く2050年の崖に突っ込ませていいのでしょうか。

次の検証は平成31年。それまで無策でいいとは思えません。